

肺移植待機患者における腸腰筋の予後予測因子としての有用性の検討に関する 後方視的研究

1. 研究の対象

2011 年 1 月から 2020 年 12 月までに大阪大学医学部附属病院で肺移植登録を行った方

2. 研究目的・方法

近年、栄養不足は様々な疾患の予後予測因子として考えられています。栄養不足を示すサルコペニアは CT を用いた腸腰筋の断面積で評価することができ、腸腰筋量低下のサルコペニアは肺移植後の予後不良と関連します。また、肝移植候補者において腸腰筋指数が低いと待機中死亡のリスクが高くなるとの報告がありますが、肺移植待機中患者に対するその役割は不明です。そこで、肺移植待機中患者における腸腰筋量などの予後予測因子としての有用性を検討することを目的としました。方法としては、大阪大学医学部附属病院で 2011 年 1 月から 2020 年 12 月までに肺移植登録を行った 101 例のうち、20 例（再移植目的 1 例、心肺同時移植目的 5 例、小児 10 例、検査結果の不足 4 例）を除外した 81 例を対象とし、移植登録時の腸腰筋面積などの因子が待機中の生存率に与える影響を検討することとしました。画像における腸腰筋の評価に際しては腹部 CT 画像検査結果を使用し、また、その他の因子の評価に際しては病歴、生死の状況、検査結果（生理学的機能検査、採血検査など）を使用します。本研究実施期間は 2027 年 3 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で利用する情報は診療上得られた情報です（性別、年齢、病歴、採血結果、生理学的検査結果、画像検査結果、最終確認日、転帰など）。

試料は利用しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2-L5

TEL : 06-6879-3152 FAX : 06-6879-3164

国立大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 呼吸器外科学・助教
狩野 孝

研究総括責任医師：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2-L5

TEL : 06-6879-3152 FAX : 06-6879-3164

国立大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 呼吸器外科学・教授
新谷 康